

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

貴企業において重点的に取り組んでいる安全衛生についての事例を記載して下さい。  
提出に当たっては、次のいずれかに○をつけて下さい

- (○) 企業名、取組事例いずれも厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページに掲載されることがあることに同意する
- ( ) 取組事例のみ厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページに掲載されることがあることに同意する
- ( ) 企業名、取組事例いずれも厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページの掲載に同意しない

企業名	株式会社ビーエステクノ
-----	-------------

安全衛生取組事例

### 1. 安全教育・BCP 対策

- 施工検討会の実施：作業手順や災害事例を共有し、安全意識を高める。
- 新入社員向け安全研修：入社時に基本的な安全ルールや機材操作の注意点を学ぶ。
- BCP 対策：水害や地震などの災害緊急時に備えたハザードマップを利用した対策。

### 2. 職場環境の改善

- 無償自販機の導入：リフレッシュしながら業務遂行できるよう、月 20 本の飲料を支給。
- 整理整頓の推進(5S 活動)：清掃や整頓を徹底して、転倒や社内事故を防ぐ。
- 換気と照明の改善：粉塵や化学物質の除去、作業場所の明るさの確保。
- 空調服の導入：高温多湿時期の、体調維持の為、作業員へ空調服を支給。

### 3. 健康管理

- 定期健康診断の実施：早期に体調不良を発見し、適切な治療を促進。
- ストレスチェック制度：社外カウンセラーによる、社員の精神的な健康状態を把握。
- リフレッシュスペースの設置：休憩室やカフェスペースを設置。
- フレキシブルな休憩取得：任意のタイミングで、休憩を取得できるフレックススタイル。

#### 4. 労働災害防止の取り組み

- ヒヤリ・ハット報告制度: 小さなミスや事故につながりそうな事案を集計し、改善策を講じる。
- リスクアセスメントの実施: 業務ごとに問題点を洗い出し、負担を軽減する対策を取る。

#### 5. 社員参加型の取り組み

- 安全衛生委員会の開催: 時節に合った注意喚起、超過勤務状況、メンタルヘルスケア、健康診断、交通安全について情報共有を実施。委員会開催の議事録は、上申し、ファイリング保管。
- 安全ポスター掲示: 喚起ポスターにより、社員に意識を浸透させる。
- 表彰制度: 貢献した社員を表彰し、個々のモチベーションを向上。

#### 6. ITを活用した安全管理

- ウェアラブルデバイス: iPhone 装着し、現場の状況を映像共有し多様な対策を講ずる。
- 安全管理装置: 列車往来する現場での、危険情報を即座に察知できる仕組み。
- 見張り員、監視員の配置: 危険な行動や状況を即座に状況把握し、労災防止する。
- レーザースキャナーを用いた調査: 安全、正確に短時間で調査、計測を実施し、社員の負担軽減を図る。

#### 7. 健康経営の推進

- 運動習慣のサポート: 社内での軽運動効果の情報共有。
- 健康活動の情報共有: 栄養やメンタルヘルスに関する知識を共有。
- 禁煙促進: 宮城県、仙台市、全国健康保険協会宮城支部が共同で実施している、受動喫煙防止宣言施設に登録し、積極的な禁煙、受動喫煙防止に取り組み、社員の健康維持に注力。